

様式

(事務局記入欄)

受付番号	
受付日	平成 年 月 日

(記入要領)

融合的連携研究制度 課題提案書

平成 年 月 日

(フリガナ) 企業名	〇〇〇〇カブシキガイシャ			
(フリガナ) 提 案 者	〇〇 〇〇			
代表者名	所属	技術統括部	役職	部長
(フリガナ) 連絡先	〒 -			
	TEL	- -	FAX	- -
	e-mail			

コメント [n2]: 役職公印

コメント [n1]: 本件推進に責任を持てる方

提案する研究開発課題	〇〇〇〇開発
研究開発期間	平成30年4月1日～平成〇年〇月〇日 (〇ヶ年)

コメント [n3]: 最長5年間

概要 (800字以内)	
-------------	--

コメント [n4]: 研究開発課題について、社会的背景や現在の問題点及びその解決方法等を記載の上、最終的に目指すことを具体的に記載。

チームリーダー 候補者 (企業から)	(フリガナ) 〇〇 〇〇	*履歴書(写真付)、職務経歴書(業績リスト)添付 *業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に〇印を付け、論文別刷等(コピー可)を添付		
	所属	〇〇開発部	役職	主席研究員
	TEL		FAX	
	e-mail			
副チームリーダー 候補者 (理研から)	(フリガナ) 〇〇 〇〇	*別途様式による意見書、業績リスト添付 *業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に〇印を付け、論文別刷等(コピー可)を添付		
	所属	〇〇研究チーム	役職	上級研究員
	TEL		FAX	
	e-mail			

コメント [n5]: 論文や口頭発表、特許等(開示可能な範囲で)

1. 研究開発課題について

(1) 研究目標 (400 字以内)

※現状の問題点等を含め、本提案における研究目標を具体的に記載してください。

(2) 企業が持つ知

① チームリーダー候補者

〇〇 〇〇 (〇〇開発部、主席研究員)

② 企業が持つ知・技術、チームリーダー候補者の業績 (800 字以内)

記載例)

当社は、〇〇のメーカーであり、〇〇の研究開発、製造販売を行っている。そのため、〇〇の実用化のための〇〇を有している。

チームリーダー候補者の〇〇は、当社では〇〇に従事しており、〇〇を熟知しているとともに、本提案に不可欠な〇〇の技術を有している。また、〇〇の経験を踏まえ、本研究実施に必要なマネジメント能力を有しているため、チームリーダーとして適任である。

(3) 理研に期待する知

① パートナーとなる研究者 (副チームリーダー候補者)

〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、上級研究員)

② パートナーとなる研究者に期待する知 (800 字以内)

記載例)

〇〇はこれまでの実績が示すとおり、〇〇の研究に携わっており、〇〇を熟知しているとともに、本提案に不可欠な〇〇の技術を有しているため、パートナー研究者として適任である。

③ 理研に期待する知財・施設・設備等 (400 字以内)

※本研究開発にあたり使用予定の理研の知財・施設・設備等をご記入ください。

(4) 研究計画

※下表 (記入例) を参考に研究のマイルストーンを記載して下さい。

項目	年度		年度		年度		年度		年度	
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
①〇〇の開発										
1) 〇〇の構築	→									
2) 〇〇の試作			→							
3) 〇〇の評価					→					
②△△法の開発	→									
③〇〇の製作							→			

コメント [n6]: 研究開発期間中及び研究開発終了後の展開やスケジュール感、収益の期待等

2. 事業化計画

(1) 最終的に目指す製品等の具体的な内容 (400 字以内)

※本提案において実用化を目指す製品・サービスについて、仕様等を含め具体的な内容が分かるよう詳細に記載してください。

(2) 事業化により期待される社会への貢献 (400 字以内)

※目指す製品・サービスによりもたらされる社会的価値について記載してください。

(3) 事業化された際の市場性 (400 字以内)

※目指す製品・サービスによりもたらされる市場性、事業性を具体的な数字を用いて記載してください。

(4) 事業化までのロードマップ

※下表 (記入例) を参考に事業化のマイルストーンを記載して下さい。
 ※事業化までに5年以上を要する場合には、適宜表を延長して下さい。

項目	年度		年度		年度		年度	
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
①製品の仕様検討	→							
②〇〇の開発	→							
③〇〇の評価			→					
④〇〇の製造			→					
⑤上市								→

(5) 理研への収益的効果とその根拠 (400 字以内)

※本制度は、本研究開発の成果を受け、企業側で製品化・事業化を図ってもらうことを旨とするものです。従って、上記(4)で事業化までのロードマップを記入いただき、当制度における研究開発期間終了後から事業化までの間、理研との更なる共同研究が必要な場合は理研への研究費支払いについてご記入下さい。事業化後は特許等の知的財産権に関する実施料支払いの他、製品等の売上に応じての研究費支払い等の概算についてご記入ください。

3. 研究開発実施に必要な資源

(1) 融合チームの構成について

①企業からの参加者

マネジメント：〇〇 〇〇 (〇〇開発部、主席研究員) ※チームリーダー<非常勤 週〇日×〇時間>

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇事業部、研究員) <常勤>

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇システム開発部、システムエンジニア) <非常勤 週〇日×〇時間>

コメント [n7]: 融合チーム (理研に設置する混成チーム) にどのような経験や技術を持った者が必要か記載。具体的な者が予定される場合は、所属・役職・氏名も明記。混成チームへの週当たりの従事 (出勤) 頻度も記載。※融合チームにおける暗黙知の共有等を実効的なものとするため、企業からの参加者に理研を主な研究実施場所とする方がいることが望まれます。

②理研からの参加者

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、上級研究員) ※副チームリーダー

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、研究員)

③新規雇用者等

〇〇技術：博士研究員 2名<常勤>

〇〇技術：テクニカルスタッフ 1名<常勤>

実験補助：パートタイマー 1名<非常勤>

(2) 研究費について

1) 企業と理研の負担額

単位：千円

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	合計
①企業負担額※	15,000	15,000	15,000	22,000	22,000	89,000
②理研負担額	15,000	15,000	15,000	20,000	20,000	85,000
合計	30,000	30,000	30,000	42,000	42,000	174,000

※企業負担額は直接経費および間接経費の合計

コメント [h8]: 各年度において「企業負担額 ≥ 理研負担額」。

理研負担額の上限は、20,000/年

2) 概算内訳 (④チーム予算額の内訳)

- ①人件費：平成30年度：博士研究員 1人 @8,000千円/年
 実験補助パートタイマー 1人 @3,000千円/年
 平成31～32年度：博士研究員 2人 @8,000千円/年
 テクニカルスタッフ 1人 @5,000千円/年
 実験補助パートタイマー 1人 @3,000千円/年
 平成33～34年度：博士研究員 2人 @8,000千円/年
 テクニカルスタッフ 1人 @5,000千円/年
 実験補助パートタイマー 1人 @3,000千円/年

コメント [h9]: 企業負担額のうち20/120は一般管理費として理研本部で使用させていただきます。

コメント [n10]: 研究期間中に新たに任期付きで雇用を予定する研究員、技術者、補助者の数、予定人件費

- ②機器・設備費：平成30年度：〇〇〇機器 11,000千円、〇〇〇装置 5,000千円
 平成31年度：〇〇〇装置 21,000千円
 平成32年度：〇〇〇機器 11,000千円

コメント [n11]: 研究期間中に新たに整備する機器・設備の内容、金額及び整備時期

- ③その他：平成30～34年度：〇〇ガス 3,000千円/年
 平成31～34年度：オリゴDNA 2,000千円/年

コメント [n12]: 特に高額もしくは大量に使用する消耗品等があれば、その内容、金額、購入時期を記載。

(3) 利用する研究施設、設備等

(4) 本提案課題に関連する特許

*該当する特許があれば記載、添付。

5. 必要なスペース (概算)

- 居室：40㎡
 生物系実験室：30㎡
 化学系実験室：30㎡
 計100㎡ (和光)

コメント [n13]: 希望研究実施場所

6. 融合チームにおいて、使用を予定している試料

- (1) RI 試料の使用：有 ・ 無
 → 有の場合、(密封・非密封の別、種類及び量：)
 (2) 特定高圧ガス使用：有 ・ 無 (有の場合、種類及び量：)

- (3) その他取扱に注意を要する試料等の使用：有 ・ 無
→ 有の場合、試料名：
分類：(反応性ガス、劇物、毒薬、向精神薬、遺伝子組換え生物、動物、その他)
量：
- (4) その他（特殊装置等の使用予定がある場合は記載）

7. **その他**
提案内容に関する補足資料（パワーポイントで2～3枚程度）を添付。

コメント [n14]: 特記事項の記載や、提案する研究開発課題の補足説明資料等を添付。

添付資料の確認リスト

1. チームリーダー候補者に関する書類

- 履歴書（写真付）
- 職務経歴書（業績リストを含む）
*業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に○印を付け、
論文別刷等（コピー可）を添付

2. 副チームリーダー候補者に関する書類

- 意見書
- 業績リスト
*業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に○印を付け、
論文別刷等（コピー可）を添付

3. 本提案課題に関連する特許等の書類

- 特許公報等

4. 提案内容に関する補足資料（パワーポイントで2～3枚）